

## マンスリーレポートについて

GNVでは、日本国内における国際報道の量や質といった特質や傾向を見出すため、GNV独自のデータベースを用いて新聞社の報道の分析を行っています。

マンスリーレポートでは、GNV独自のデータベースをもとに、日本国内における国際報道の量や傾向を以下に示す方法で分析し、その成果をグラフ形式でわかりやすく提供します。分析対象は、日本の大手全国紙3社である、朝日新聞、読売新聞、毎日新聞がそれぞれ扱った報道としています。

また、マンスリーレポートで扱う国と地域は、国連統計部（United Nations Statistics Division）の基準に従い、世界各国を「アジア」、「アフリカ」、「オセアニア」、「ヨーロッパ」、「北米」、「中南米」の6地域に分類して分析しています。

なお、国際報道の基準のほか、データの収集方法、及び分析方法の詳細については、こちら（[http://globalnewsview.org/wp-content/uploads/2016/08/gnvdata\\_20161111.pdf](http://globalnewsview.org/wp-content/uploads/2016/08/gnvdata_20161111.pdf)）をご覧ください。

---

### 1. 国際報道量

#### 1-1 国際報道の割合（記事数）

「国際報道の割合（記事数）」のグラフでは、日本の大手全国紙各社それぞれにおいて、どれほどの国際報道がなされているのかを、記事数の尺度でご紹介します。

国内報道も含めた全ての記事数である「総記事数」を分母、「国内報道の記事数」、「国際報道の記事数」、および「日本関連の国際報道の記事数」を分子として、それぞれが占める割合を算出しています。

- ・「国際報道」と「日本関連の国際報道」の記事数について

「日本関連の国際報道」とは、国際報道のうち、見出しに「日本」や「自衛隊」など日本の政府や機関が登場した記事の数を示しています。グラフ中の「国際報道」の記事数は、この「日本関連の国際報道」を除いたものを示します。

- ・国内報道とは

「国内報道」は各社の「総報道量」から「国際報道」と「日本関連の国際報道」を差し引いたものを表しています。

## 1-2 国際報道の掲載面（記事数）

「国際報道の掲載面（記事数）」のグラフでは、日本国内における国際報道が、新聞のどの紙面（1面、国際面、その他）に掲載されやすいのかを、大手全国紙3社ごとにご紹介します

この分析では、「各紙面に載った国際報道の記事数」÷「国際報道の総記事数」×100の計算式で、何%の記事が各紙面に掲載されたのかを算出しています。なおこのグラフでは国際報道を総じて扱うため、分母である「国際報道の総記事数」には、国際報道のうち見出しに日本の政府や機関が登場する記事（日本関連の国際報道の記事）が含まれます。

## 1-3 国際報道量の年間推移（記事数）（文字数）

「国際報道量の年間推移（記事数）（文字数）」のグラフでは、日本国内の大手全国紙各社の扱った国際報道の量が、月ごとにどのように推移し変化しているのか、記事数、及び文字数の尺度でご紹介します。

この分析では、GNV独自のデータベースをもとに、日本国内における国際報道の記事数、及び文字数を各社1か月ごとに集計しグラフを作成しています。このグラフでは（1-2同様に）国際報道を総じて扱うため、記事数・文字数共に、国際報道のうち見出しに日本の政府や機関が登場する記事（日本関連の国際報道の記事）が含まれます。

## 2. 地域別報道量

### ・地域区分について

「2、地域別報道量」で扱う国と地域は、国連統計部（United Nations Statistics Division）の基準に従い、世界各国を「アジア」、「アフリカ」、「オセアニア」、「ヨーロッパ」、「北米」、「中南米」の6地域に分類して分析しています。

## 2-1 国別報道量（文字数）

準備中

## 2-2 地域別報道量（文字数）

「地域別報道量（文字数）」では、日本の大手全国紙各社の国際報道について、どの地域が多く報道され、あるいは報道されていないのか、地域ごとの報道量の傾向をご紹介します。

各地域の報道割合（％）は、各社それぞれについて、国際報道（※）の「総文字数（単位：文字数）」を分母とし、「各地域の報道量（単位：文字数）」が占める割合を示しています。

※国際報道のうち、見出しに日本の政府や機関が登場している分の文字数を除いたものを意味します。なお、グラフ中の「総文字数」が小数となる場合があるのは、このように日本関連の文字数を除いているためです。

## 2-3 地域別報道量の年間推移（文字数）

「地域別報道量の年間推移（文字数）」では、各地域について、文字数の尺度から報道量の変化をご紹介します。

月ごとに、各地域それぞれについて、日本の大手全国紙3社の文字数の平均を取り、その月の「3社平均文字数」の合計を母体として、その月の各地域の報道量が占める割合を算出しています。なお各地域や母体の文字数の集計は、国際報道のうち、見出しに日本の政府や機関が登場している分の文字数を除いて行っています。

### 3. 記事が与える印象

この項目では、日本の大手全国紙3社の国際報道のトピック（話題）について、どういった印象を与えるものが選ばれていたのかを、「ポジティブ」「ネガティブ」「中立」の3つの角度からご紹介しています。

#### ・ポジティブ、ネガティブ、中立の判断基準について

ニュース内の「出来事」を優先して抽出した「記事のトピック（何について書かれているか）」について、見出しのみから判断しています。特別な知識がない状態で行う判断であることを前提とします。

ポジティブ、若しくはネガティブと明確に判断できない記事、価値観が分かれると考えられる記事は、中立と判断しています。なお、ポジティブ、及びネガティブに振り分けられるトピックのイメージは以下の通りです。

#### <ポジティブ>

平和／協調  
民主主義／民主化  
創造／誕生／発見／結成  
合意／是正／改善  
平等／公平／公正  
会議／裁判（法的なプロセス）／言論の自由  
好況

#### <ネガティブ>

戦争／紛争  
テロ  
デモ／暴動（「暴動」の場合）  
事件  
事故  
公害／環境（「公害」の場合）  
気象／災害（「災害」の場合）

#### ・地域区分について

「3、記事が与える印象」で扱う国と地域は、「2、地域別報道量」同様に国連統計部（United Nations Statistics Division）の基準に従い、世界各国を「アジア」、「アフリカ」、「オセアニア」、「ヨーロッパ」、「北米」、「中南米」の6地域に分類しています。

#### 3-1 ポジティブ、ネガティブ、中立記事の割合

「ポジティブ、ネガティブ、中立記事の割合」では、日本の大手全国紙3社の国際報道について、記事のトピック（話題）がどのような印象を与えるものだったのかを、記事数の尺度でご紹介します。

このグラフでは（1-2 同様に）国際報道を総じて扱うため、記事数に、国際報道のうち見出しに日本の政府や機関が登場する記事（日本関連の国際報道の記事）が含まれます。

### 3-2 ポジティブ、ネガティブ、中立記事の地域別割合

「ポジティブ、ネガティブ、中立記事の地域別割合」では、日本の大手全国紙 3 社の国際報道について、地域ごとに、記事のトピック（話題）はどのような印象を与えるものが多かったのかを、記事数を用いた割合でご紹介します。

地域ごとに、「ポジティブ」「ネガティブ」「中立」の印象を与える記事の数をそれぞれ、大手全国紙 3 の数値を合計して数え上げています（※）。「各地域の国際報道の総記事数」を分母、「ポジティブ、ネガティブ、中立の各記事数」を分子として、地域ごとに「ポジティブ」「ネガティブ」「中立」の各記事数が占める割合を算出し、作成しています。

※このグラフでは、全ての地域に関して、「各地域の国際報道の総記事数」及び「ポジティブ、ネガティブ、中立の各記事数」の集計時に、大手全国紙 3 社分の「ポジティブ」「ネガティブ」「中立」をすべて合計した記事数が 5 未満の国（＝3 社合計の総記事数が 5 未満の国）の値を除外して計算しています。

また、国際報道のうち見出しに日本の政府や機関が登場する記事（日本関連の国際報道の記事）の数は完全に除外して計算・分析を行っています。

### 3-3 ポジティブ、ネガティブ、中立記事の年間推移

「ポジティブ、ネガティブ、中立記事の年間推移」では、記事のトピック（話題）が「ポジティブ」「ネガティブ」「中立」の記事それぞれについて、記事数の尺度から報道量の変化をご紹介します。

各印象の記事数は、各月ごとに、大手全国紙 3 の数値を単純合計して数え上げています。

このグラフでは（1-2 同様に）国際報道を総じて扱うため、記事数に、国際報道のうち見出しに日本の政府や機関が登場する記事（日本関連の国際報道の記事）が含まれます。

（以上）